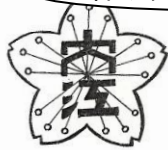


県内で学童クラブの初のクラスターが出たニュースは、衝撃でした。これまで子どもたちは感染しにくいとされてきましたが、これからは明日は我が身。手洗いの励行に努めます。いろいろなことを想定しながら日々の学校生活をこの状況下でも充実できるようにがんばっていきます。



大江の風



4月26日
No.10

近頃朝昼の寒暖の差が激しいです。衣類で調節できるようにするといいですね。

レベルリスク5によって

4月23日（金）に新型コロナウイルス感染症リスクレベルが「5 厳戒警報」へと引き上げられました。このことに伴う「学習指導、部活動の留意点」及び「出席停止等の措置」については、リスクレベル「4 特別警報」の対応と同様であると市教委から通知がきています。「大江の風No.8」でお伝えした通り、禁止キーワードは、「長時間・近距離で・大きな声で・管楽器・密集する運動・接触する運動」です。引き続き、学校教育活動における基本的な感染防止対策の徹底をしていきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

しかし、本当に保護者の皆様のご心配も相当だろうと思います。本日安心メールで流しましたが、家庭訪問は玄関外で距離を置き、感染防止に配慮して行いますが、ご心配のところは遠慮なく担任にご連絡ください。

28日の遠足につきましては、送別遠足と同じようにマスクをして歩き、昼食は一定の距離をとって同一方向で黙食するということを徹底し、実施する予定です。でも雨が心配ですね。雨の場合は授業を行い、教室でお弁当を食べます。歓迎会も、換気をよくした体育館で1学年ずつ入り、距離をとって行い、他の学年はその様子をZoom配信し、教室で1年生を歓迎するということにします。**5年生の阿蘇宿泊教室**については、「大江小が行く前後に団体が入っていないこと。当日は大江小だけであること。宿泊所は感染拡大防止を徹底していること。野外活動であること。バスも1クラス1台で自動換気等感染拡大防止対策をしてあること。」など、移動教室は学校とリスクは同じであると考え、今のところ実施する予定です。なお今後の様子を見て、急な変更（延期）があるかもしれません。その場合は、安心メールで即、お伝えします。

実験ってわくわくするね

理科専科の北野先生。博士みたいね。



今年も5・6年生の理科は専科の先生に習います。今日は6年生が「ものの燃え方」の学習をしていました。課題は「窒素、酸素、二酸化炭素にものを燃やすはたらきはあるの?」でした。予想を立てて、実験開始です。水上置換という方法で酸素を集めていました。実験は楽しいですが、危険も伴います。実験の前には、実験の事故防止や感染拡大防止のための指導がきちんとあっていました。6年生の姿からは、誰一人ふざける者もなく、協力しながら真剣に取り組んでいることがわかりました。素晴らしい！今はテレビ等で知識として知っている子どもはたくさんいると思います。でもこうやって実際にやってみる、酸素を集めてみる、マッチを擦ってみる・・・という体験が非常に大事です。興味関心がわき、新しい発想が生まれるかもしれません。大江小の子どもたちの中から、将来の科学者・研究者が表れるかも！とても楽しみです。理科大好き人間になろう！



なかなか水の中で広口びんから空気を抜いて酸素ボンベから酸素を入れるが難しかったですね。何回もチャレンジしている班もありました。でもそれでいいのです。失敗は成功のもとなのだ。



マッチも安全に気を付けて上手にすっていました。いよいよ炎をビンに入れていきます。ドキドキの瞬間。



この班はビンにろうそくを入れる人、タブレットで記録する人など、役割を分担して実験していました。こういう時タブレットが便利ですね。よい使い方です。